

4-2 ゲート動作可否の確認結果【②】

1号洪水吐きゲートが動作可能であることを把握するため、戸当りとのクリアランス等状況について、ゲート設置時と同様の施工管理基準に照らし計測確認を行った。変状は見られず健全であることが確認できた。

1号洪水吐きゲートの変位状況（計測結果）

工事番号	666-1008	工事名	明治用水頭首工復旧工事 1号洪水吐きゲート 計測調査										単位	(mm)					
図面番号	61-1001	工種名	1号洪水吐きゲート 戸当り (据付式法計測調査)										調査者	石岡 徳浩					
検査項目	分類	検査名	管理基準値 A	社内基準値 B	社内検査				段階確認				計測調査				写真番号		
					検査日	令和2年3月6日	検査日	令和2年3月7日	調査日	令和5年1月26日									
		測点	設計値 C	実測値 D	設計値との差 E=D-C	社内基準値との差 F=E-B	判定	実測値 D	設計値との差 E=D-C	社内基準値との差 F=E-B	判定	実測値 D	設計値との差 E=D-C	社内基準値との差 F=E-B	判定				
純径間	A	上部 全幅	16500	-	+6	-8	良	16504	+4	2	良	16501	+1	5	良	①			
		下部 全幅	16500	-	+6	-8	良	16501	+1	7	良	16502	+2	6	良	②			
主ローラ路面とフロントローラ路面間距離 (戸溝幅)	B	d 上部 左側	680	±5	±4	682	+2	2	良			682	+2	2	良	③			
		d 上部 右側	680	±5	±4	680	0	4	良			684	+4	0	良	④			
		d 下部 左側	680	±5	±4	681	+1	3	良			679	-1	3	良	⑤			
		d 下部 右側	680	±5	±4	681	+1	3	良			680	0	4	良	⑥			
基準点間の対角長の差 (i1 = i1 - i2)		A	i1	17804	10	8	17806	差0	差8	良	17808	差2	差6	良	16802	差1	差7	良	⑦
右側 (前面) 側部水密面の鉛直度 (下げ振り測定)	A	n	1	基準値	95.5	+2	0.0	良	107.5	+1.5	0.5	良	100	0	2	良	⑧		
		2	(39.5)	95.5	+2	0.0	良	108.0	+2	0	良	100	0	0	良	⑨			
		3	(106.0)	95.5	+2	0.0	良	107.5	+1.5	0.5	良	100	0	0	良	⑩			
		4	(106.0)	93.5	0	2.0	良	106.0	0	2	良	99	-1	1	良	⑪			
左側 (前面) 側部水密面の鉛直度 (下げ振り測定)	A	n	1	基準値	93.0	+0.5	1.5	良	92.5	+0.5	1.5	良	50	0	2	良	⑫		
		2	(92.5)	93.5	+1	1.0	良	93.5	+1.5	0.5	良	50	0	2	良	⑬			
		3	(92.0)	93.0	+0.5	1.5	良	93.0	+1	1	良	50	0	2	良	⑭			
		4	(90.0)	92.5	0	2.0	良	92.0	0	2	良	50	0	2	良	⑮			
右側 (後面) 主ローラ路面の鉛直度 (下げ振り測定)	A	l	1	基準値	111.0	+2	0	良	110.5	+1	1.0	良	100	0	2	良	⑯		
		2	(109.0)	111.0	+2	0	良	111.0	+1.5	0.5	良	100	0	2	良	⑰			
		3	(109.5)	111.0	+2	0	良	111.0	+1.5	0.5	良	100	0	2	良	⑱			
		4	(100.0)	110.0	+1	1	良	110.5	+1	1.0	良	100	0	2	良	⑲			
右側 (後面) サイドローラ路面の鉛直度 (下げ振り測定)	B	p	1	基準値	55.0	-0.5	4.5	良			0		100	0	5	良	⑳		
		2	(55.5)	55.5	0	5	良			0		100	0	5	良	㉑			
		3	()	56.5	+1	4	良			0		100	0	5	良	㉒			
		4	(100.0)									100	0	5	良	㉓			
左側 (後面) 主ローラ路面の鉛直度 (下げ振り測定)	A	l	1	基準値	115.0	+2	0	良	123.0	+1.5	0.5	良	100	0	2	良	㉔		
		2	(112.0)	115.0	+2	0	良	123.5	+2	0.0	良	100	0	2	良	㉕			
		3	(112.0)	114.5	+1.5	0.5	良	123.0	+1.5	0.5	良	100	0	2	良	㉖			
		4	(100.0)	114.0	+1	1	良	122.5	+1	1.0	良	100	0	2	良	㉗			
左側 (後面) サイドローラ路面の鉛直度 (下げ振り測定)	B	p	1	基準値	111.5	-2	3	良			50	0	5	良	㉘				
		2	(113.5)	112.0	-1.5	3.5	良			50	0	5	良	㉙					
		3	()	114.0	+0.5	4.5	良			50	0	5	良	㉚					
		4	(50.0)	114.5	+1	4	良			50	0	5	良	㉛					
底部戸当り表面の水平度 (レベルによる測定)	A	k	1	基準値	872.0	0	2	良	860.5	0	2	良	645	-1	1	良	㉜		
		2	(872.0)									645	-1	1	良	㉝			
		3	(860.5)																
		4	(646)	870.5	-1.5	0.5	良	860.0	-0.5	1.5	良	647	+1	1	良	㉞			
		5										647	+1	1	良	㉟			
底部戸当りの高さ (27.550) (レベルによる測定)	B	s	中央	27550	±5	±4	27551	+1	3	良			27547	-3	1	良	㊱		

① : R2年度に1号洪水吐きゲートを設置した時の施工管理基準に基づく出来高確認結果
* 全て施工管理基準値内で問題なし

② : R5.2月に1号洪水吐きゲートについて設置した時と同様に施工管理基準に基づく確認結果
* 全て施工管理基準値内で問題なし

(参考) クリアランス計測の様子



* 戸当りとのクリアランスのほか、開閉装置についても計測確認しており、異常なしの結果で問題なし

P1堰柱下部及び根固め工チェックボーリング調査位置

